

部会名	実践 SDGs経営研究部会
部会長名	高山 千弘 (本学会理事 エーザイ株式会社 執行役員 ナレッジクリエーション・フェロー)
代表世話人名	矢澤 洋一 (本学会理事 株式会社日経 BP 参与)
世話人名	進 博夫 (本学会理事 株式会社アルシノーバ代表取締役) 西原文乃 (本学会理事 立教大学経営学部准教授)
部会創設目的・説明・紹介	<p>本研究部会は、持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)を経営戦略に取り入れているメンバー企業と並走しながら、知識創造理論を使って各企業のSDGs活動の実践、定着の研究・支援を目指すことを目的とする。2020年度には、グローバル・コンパクト・ジャパンおよび大阪大学社会ソリューションイニシアティブ(SSI)と協力し、企業としての特色を踏まえながらグローバルな視点に立っても通用するSDGsの在り方を探っていく。国連グローバル・コンパクトは企業を中心として責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって持続可能な成長を実現するための世界的な枠組みである。グローバル・コンパクト・ジャパンとSDGsに向けて新たなスキームを構築しながら、新規プロジェクトや講師の派遣、あるいは有力講師の情報提供を受けるのに加え、合同研究会等を企画し、知識創造理論を実践する場づくりを行う。大阪大学SSIは堂目卓生先生の提唱する共感資本主義の実現に向かい「他者に共感し、他者も自分に共感することを知ること」をベースにメンバー企業とSDGs達成を目指している。特に堂目先生の共感の理論を導入し両部会による相乗効果を図っていく。また、会員企業とは個別に、それぞれダイアログを重ねて、進むべき方向が明確になるよう共に考え実践していく。そしてコーチングも可能も探っていく。</p> <p>なお、以下の2点の基本戦略はこれまでと変わらない。</p> <p>① 一橋大学の野中郁次郎名誉教授が提唱する組織的知識創造理論に立脚する。</p> <p>② 部会での学びの深耕のため、研究部会の方向性から具体的な活動の取り組みを含め、野中郁次郎先生のご指導を頂く。</p> <p>実行計画 月に研究部会の開催日程、会場についてはグローバル・コンパクト・ジャパンとの協議を続けており、3月現在未定である。</p>
部会参加形式	クローズ＋オープン
開催サイクル	毎月 クローズとオープンを交互
部会形式	セミナー＋ワークショップ
発表資料の公開可否	公開＋クローズ

<p>これまでの 研究部会の活動等</p>	<p>第1回「SDGsが問いかける経営の未来」講師＝藤井剛モニターデロイト執行役(4月16日)</p> <p>第2回「高山部会長によるワークショップ」(5月20日)</p> <p>第3回「CSVリーダーに求められる5つのコンピテンシー」講師＝黒田由貴子株式会社ピープルフォーカス・コンサルティング代表取締役社長(6月17日)</p> <p>第4回「SDGs実践に即した組織の在り方についてのディスカッションとワークショップ」(7月24日)</p> <p>第5回「リファインホールディングス株式会社の取り組み」講師＝川瀬泰人氏リファインホールディングス代表取締役社長(8月26日)</p> <p>第6回「〈いのち〉のオアシスとSDGsについてのディスカッション」(9月)</p> <p>第7回「高山部会長ワークショップ」(10月23日)</p> <p>第8回「SDGsとドラッカー理論からの視点」(11月25日)</p> <p>第9回「グローバル・コンパクトネットワーク・ジャパンの役割と活動」(12月17日)</p> <p>第10回(2020年1月27日) 休会(積雪のため)</p> <p>第11回(2月25日) 休会(COVID19のため)</p> <p>第12回(3月23日) 休会(COVID19のため)</p>
---------------------------	--